



Rotary Club of SUGITO

杉戸ロータリークラブ週報

2015～2016 年度 RI のテーマ

Be a gift to the world

会長 渋谷 忠明 幹事 折原 正昭

<http://www.sugito.club>

第2309回例会 2015年9月24日

点鐘

渋谷会長

ロータリーソング

手に手つないで

四つのテストの唱和

渡辺良一会員

会長挨拶

渋谷会長

先日新聞に、「子宮頸がんのワクチン」についての記事がありましたのでご紹介いたします。今から5年前、杉戸中央 RC の栗原年度で、私が幹事の時に、東大医学部准教授中川恵一氏とタレントの向井亜紀さんを講師としてお招きし、すぎとピアで講演会を開催致しました。当時は中学生からの子宮頸がんのワクチン接種を推奨されており多くの自治体で助成や無料化が進んでおりました。



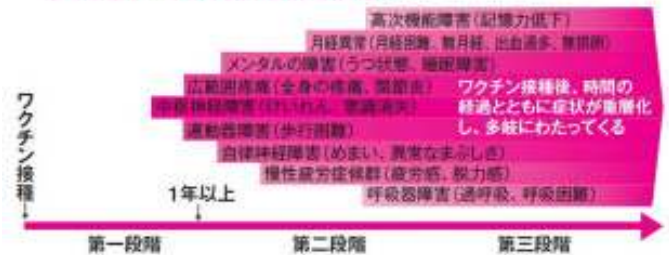
「子宮頸がん」とは、子宮の出口付近である子宮頸部(しきゅうけいぶ)にできるがんです。子宮の中にできる「子宮体がん」と異なり、子宮頸がんは遺伝に関係なく、原因のほぼ100%は、HPV(ヒトパピローマウイルス)というウイルスの感染によって起きるとされています。多くの場合、このウイルスは性交渉によって人から人へ感染するとされ、女性の約80%が一生に一度は感染していると言われています。このため、すべての女性が子宮頸がんになる可能性を持っているとされています。

子宮頸がんは、近年、20代後半から30代の女性に急増し、発症率が増加傾向にあります。現在では、がんによる死亡原因の第3位で、女性特有のがんの中では乳がんに次いで第2位となっています。特に20代から30代の女性では、発症するすべてのがんの中で第1位となっています。これは、晩婚化が進むことにより、妊娠や出産による婦人科への受診の機会が少ないことから、早期発見の遅れが原因ともされています。

平成21年から国内で使用が始まった子宮頸がんワクチンですが、性交渉未経験の割合が高い10代少女への予防が効果的とされています。このため厚労省は小学6年～高校1年の女子を原則無料で受けられる定期接種の対象としました。2014年までに推計340万人が接種を受けています。しかし昨今、接種後に原因不明の痛みやけいれんなど副作用が疑われる報告が相次ぎ、ワクチン接種の積極勧奨を一時中止する異例の措置に踏み切りました。よって現在接種者は大幅に減っています。

このワクチンの副反応は、重い副反応の発生率を日米で比べると、日本の方がはるかに多くなっています。これは、医療受診体制の充実している日本ならではのデータでもありますが、慢性の痛みや記憶力の障害などは、欧米ではほとんど問題になっていません。診断基準などが違うとも考えられますが、何らかの理由で、日本人の方が重い副反応が出やすい可能性も否定はできません。

■ HPVワクチン接種後に重篤な副反応が出たケースではこんな症状が



厚生労働省 合同会議 (9月17日)

“副反応”追跡調査 → 186人未回復

慢性痛 運動障害 記憶障害...

被害者の救済 → 拡充

積極的勧奨

再開見送り

例会日: 木曜日 12:30～13:30 例会場: 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

事務所: 杉戸町杉戸 2-15-21 埼玉懸信用金庫 杉戸支店 2F

TEL&FAX 0480-31-0031

当初「子宮頸がんを 100%予防できるワクチン」のようなイメージで宣伝されていましたが、このワクチンは、有効性や予備知識なしで、気軽に接種してよいものではないようです。しかし、このワクチンだけでなく、インフルエンザを含むすべてのワクチン接種には共通して、死亡例を含む副反応があります。ガンにかかるリスクを考えると接種をしたいという考えもありますので、一概に悪いとは言えません。親としては悩まされるところです。

今私の事業所にインターシップとして杉戸農業高校の生徒が研修に来ております。とてもまじめな子ばかりで、私達の方が返って初心にかえる思いがします。

今杉戸町商工会と町産業課では、杉戸宿開宿400年に向けて杉戸宿の魅力を発信するため、杉戸町の歴史や食文化をテーマに、新たな杉戸宿グルメの創出を目的とした「食資源開発部会」を2014年11月に発足し、観光客らが食べたり土産にしたりできる商品を研究しています。地元杉戸の菓子屋・蕎麦うどん屋・酒屋・お茶屋などの7人の店主が参加し、また、料理研究家や有識者のアドバイスをいただきながら検討を進めています。

先日は杉戸高校の食品研究同好会が試食を繰り返した自慢の料理とお菓子を発表してくれました。これを機会に、町と町の業者と地元の高校生がいろいろチャレンジして杉戸町から色々と発信して行けたらと思っております。



幹事報告

- 杉戸町役場高齢介護課より、平成27年10月15日(木)12時30分～さいしん例会会場開催される、認知症サポーター養成講座の決定通知書が届いております。90分の講座になりますが、終了後には認知症サポーター証が発行されますのでよろしくお願い致します。
- 職業奉仕部門よりご案内されております、平成27年10月16日(金)13:00～清水園にて開催される職奉仕部門セミナーと夜話会の登録締切が今月30日までとなっております。希望者は、事務局まで。



折原幹事

- 広報部門より、井原ガバナー地元メディア出演のお知らせが届いております。
 - ①FM NACK5(ラジオ)「ザ・フロンティアーズ」
10/3(土)7:40~8:00 パート I
10/10(土)7:40~8:00 パート II
 - ②テレビ埼玉(テレビ)「埼玉ビジネスウオッチ」
10/10(土)22:00~22:30(内3分間出演)
- 春日部イブニング RC より、「第6グループチャリティゴルフ」開催の案内が届いております。
平成27年11月9日(月)フレンドシップ CC
OUTIN コース 7:46 スタート 締切 10月10日です

会員卓話

折原弥五郎会員

私は、6人兄弟で私の他は5人姉妹です。男一人ということで、子供の頃から「おまえが大工を継ぐしかない」と隣に住む祖母から言われ続けました。私もなんの抵抗もなくこの道に進んだ次第です。



我々の年代では、まだ大工はお得意さんの所に行き、他の職人たちと朝食を食べ、小僧は食事の準備や世話をしなければならない時代でしたが、ちょうど高度成長期もあり仕事の形態も少しずつ変わってきました。私より少し上の世代ではかなり厳しい見習い時期もあったようですが、私はそのような経験はありませんでした。2~3年経った頃には、もう自分のところで仕事を請け負って工事をするようになりました。

道具もずい分と変わりました。始めた頃は、電動工具と言っても電気ドリルくらいしかありませんでした。初めの4~5年は、カンナ削りとか大変な重労働でしたが、自分家でやるのであれば仕方がないということで、そのうち電気カンナなど、早いうちから色々な工具をそろえました。



時代も良かったので、仕事は苦労もなく順調でした。今のように営業をしなくても、職人は真面目に仕事さえすれば必ず次の仕事が入ってくる時代でした。

しかし家の近所ばかりでは、年間を通して仕事はないので、時々頼まれて越谷とか大宮など遠くで仕事をしていると、日曜日にサラリーマンが散歩がてら、ぶらぶらと仕事を見に来るんですね。家の親父は彼らと世間話なんかして「いい材料でいい仕事をしているから頼むよ」と、その現場で次の仕事が入ってきました。いち度仕事を

もらうと、しばらくは次々に仕事が入ってきました。

春日部を境に越谷あたりから、土地がどんどん売れて単価のいい仕事が入ってきましたね。当時、農家は土地を売ってお金をたくさん持っていましたから、良い材料で良い家を建ててくれました。私達が30代~40代はとてもいい時代でした。建具や材木などを当時20万~30万仕入れると海外旅行に招待してくれるような時代でした。我々の上の世代では、毎月のように海外旅行に行っていたと思います。遊びすぎて体を壊す人もいました(笑)。

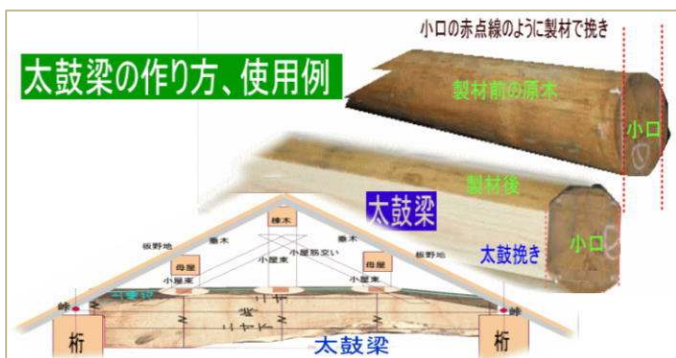
また、農家の人もお金を持っていたので、契約も坪5万とか7万でやってくれというだけで、細かい見積もりなどありません。展示場などありませんでしたから、出来上がった家を見比べて、こっちの大工さんはこの予算でこれだけの家を造ってくれた、こっちの大工さんはこうだったという評価です。職人はまさにどんぶり勘定の時代でした。

そんな順調な中で、最初にとまどったのは、1973年のオイルショックですかね。それまで、坪単価が7万円だったのが、オイルショックの後は、一気に3倍の坪20万になりました。仕事は減りませんでしたが、しばらく材料が何処にもないという状態が続きました。商社が買い占めて出さないという感じがありました。案の定材料が出回るときには値段は3倍になっていました。

家の造りは、寄棟や切妻、小屋組みとうのはそう難しくありません。しかし昔の人は丸太を山に見に行き、木の



曲がりを見ながらこの木をどこに使うかなど屋根の梁組を決めていました。私も初めてから20年位は丸太の小屋組みをやっておりましたが、そのうち丸太の脇を削って太鼓(左右の丸みの背板を挽き落とし、木口が太鼓を側面から見たような形状にする挽き方)になり、その後平ものや角材になりました。今は、新建材や集成材など合成品が多くなってきました。



しかし、合成品である耐水ベニヤなどは、化粧をして屋根裏などに使った時期がありますが、15年~20年経つとそれがみんなブカブカして



きます。床板もおなじです。今では柱も梁も重量のない集成材を使う時代になってしまいましたが、我々がそれではもたないと言っても、古い人間だからと言われます(笑)。

集成材も新しいときはいいのですが、年数経つと強度がなくなります。集成材の命は、素材である木材そのものより、使われている接着剤と言われています。私は「昔の天然の材料で造った神社やお寺は、何百年経っても腐らず保っているのだから、やはり本物には敵わないんだよ」と言いますが、若い人には残念ながら通じません。

昔の大工さんは木のクセを見極める能力がありましたが、今は集成材を使ったり、製材工場でプレカット加工をしたりするので、若い人が木に接する機会が少なくなっているのでは仕方ないかもしれません。しかも、プレカットの段階で木のクセを見極められないという製材工場もありますので、今の若い人はリスクの少ない集成材を選んでしまうのでしょうか。

そして、私達が建てた家も代が変わると大工も変わってしまいます。昔は一軒家を建てると、代々その家の建物を頼んでくれるのですが、今では住宅展示場にある大手ハウスメーカーが多くなり、いつの間にか新しい家になっていたりします。

ハウスメーカーは営業も仕事ですから、一度展示場に足を運ぶと、毎日のように通ってきます。当然、多額の広告経費、住宅展示場維持費などが掛かるので建築費は我々より高くなります。それでも大手に仕事が流れてしまうのは、我々に営業力がないからです。昔気質の職人は一生懸命仕事をして、営業力がありません。大手の方へ仕事が流れていくのは仕方のない事ですね。大手の下請けとして大工をしても、ほとんどがプレカットで、工場刻んで建ててしまうので、若い人が自分で墨付けをし、木を刻むことが出来なくなってしまいました。



最近では自分で工場を持ってない人も多いので、プレカットも仕方ありませんが、自分の所で刻む良さを見せないといけませんね。建物で一番大事なものは、土台と小屋と柱の『ほぞ』ですね。プレカットの場合は、『ほぞ』の穴が半分くらいで筋交(すじかい)でもたせるやり方ですが、本当は相手材の上から下まで穴を抜くと、横方向の荷重に対してかなり強く地震でも安心です。



高度な継手(通しほぞ)



基本継手(短ほぞ)

15年位前から、建築士会とう設計士の業界でも、昔の建物は丈夫だから、在来方法での建築を推奨する動きもあります。しかし、今の職人が自分で刻む工場もないし、機械も持っていないので現実は無理なんですね。けれども、自分で墨付し刻むのは大変ですが、手間を掛けたものは、掛けただけのものが出来上がるという事を若い人に見せていければと思っています。

報告事項

9月22日(火)23日(水)有楽町の国際フォーラムにて全国の町村が一堂に会し、それぞれが持っている特産品や観光資源などの“宝”を都会の人たちにアピールするためのイベント、「町イチ！村イチ！2015」が開催されました。

町村の特産品の紹介・販売や郷土芸能を披露することにより、町村自慢の逸品が首都圏の皆様幅広く認知され、特産品の販路拡大や観光など交流人口の拡大による地域活性化に繋げることを狙っています。

関口会員



杉戸町のブースでは、杉戸農業高校の生徒たちが、杉農バケットというフランスパンを売っていました。



先月のロータリーの友8月号に、浦和東RCの北清治氏が2013-2015年度RI理事の任期を終えたという記事が載っております。隣のページには、2015-16年度R財団国内委員の名簿がありますが、我々の地区からは、八潮RC田中作次、浦和東RC北清治、浦和RC岩淵均、川口RC田中徳兵衛、が記載され大変活躍されていますのでご報告します。

出席報告

落合(喜)会員

アミノインデックス検査をご存じですか？血液中のアミノ酸濃度を測定し、がんであるリスクを評価する新しい検査です。一回の採血で4~5種類のがんリスクが分かります。健康保険は適用されないのと検査結果が1か月後ですが、面倒な検査がありませんので是非おすすめ致します。



会員数	出席	欠席	免除	MU	出席率
38	15	23	0	11	68.42%

スマイル報告

落合(喜)会員

渋谷会長：折原弥五郎会員、今日の卓話ありがとうございました。

折原幹事：ラグビー日本代表頑張っていますね。

落合(喜)会員：ようやく涼くなりました。しかし台風が今年も多く20号が又日本に向いているが大雨が心配です。常総市がかわいそうだ。

関口会員：4連休毎日家で静かにしていました。

武井会員：折原(弥)様、卓話ありがとうございます。

田中会員：折原会員卓話ありがとうございます。

栗原会員：先日、米山のバングラディッシュの学生と夕食をし下津谷さんの功績を聞かせて頂きました。今度、卓話をお願いします。

渡辺良一会員：1週間なにもなし何も無いのが幸せです。

下津谷会員：関口さんは、ピロリの退治中とか、小生ピロリは居ませんでした。実はピロリの嫌いなブロッコリーを毎日食べているせいだと思います。

長岡会員：しばらくです。

矢島会員：折原(弥)会員：細井会員：篠原会員：

新井会員

本日のスマイル

スマイル本日投入額	24,000円
スマイル累計額	256,000円
スマイル目標額	1,200,000円